

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年2週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 年齢階級別
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
 - クローズアップ「感染性胃腸炎」
- 感染症豆知識「伝染性紅斑」

東京都医師会感染症予防検討委員会
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)
FAX:03-5332-7365
E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2005年2週》

(全数把握対象疾患)

・東京都における平成16年1年間のHIV感染症の届出は411件と過去最高を記録している。

区分	疾患	届出 件数	情 報 (検出菌・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	4	ソルネ菌3件	インドネシア2件 国内1件
			フレキシネル菌1件	インド
四類	オウム病	1	推定感染経路: インコからの感染	国内
	レジオネラ症	1	推定感染経路: 不明 肺炎、呼吸苦、発熱を認めている	国内
五類	アメーバ赤痢	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	スリランカ
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	推定感染経路: 右大腿部の皮膚炎 血圧低下、肝腎機能低下を認めている	国内
	HIV感染症	9	無症候性キャリア7件、AIDS2件 推定感染経路: 同性間性的接触6件、 異性間性的接触2件、両性間性的接触1件	国内7件 ナイジェリア1件 不明1件

(推定される感染地は医師の届出によるものである)

追加報告

・2004年第52週において、HIV感染症が1件追加報告された。無症候性キャリアで推定感染経路は同性間性的接触である。

(定点把握対象疾患 一小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点一)

・感染性胃腸炎の報告が多い。町田保健所(定点あたり34.5人)をはじめとする13保健所で定点あたり10人を超えている。

(検査情報)

- ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎が多い。
- ・今シーズン初めてAH1型のインフルエンザウイルスが検出された。

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
水痘	0	咽頭拭い液	水痘ウイルス	遺伝子
手足口病	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
下気道炎・DIC*	9	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス、ロタウイルス	
急性胃腸炎	14	糞便	ノロウイルス	
急性胃腸炎	4	糞便	ロタウイルス	
急性腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎		糞便	ノロウイルス	
インフルエンザ	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1	
インフルエンザ	19	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB	

DIC: 播種性血管内凝固症候群

施設内感染疑いまたは食中毒疑い等で搬入された検体

臨床診断名	検査試料数	陽性数	検出病原体
感染性胃腸炎	459	220	ノロウイルス G II

定点医療機関からのコメント

墨田区

- ・インフルエンザは2例ともB型であった。

台東区

- ・インフルエンザはBです。

世田谷区

- ・インフルエンザ:6歳男児はB型。父親が上海旅行で感染して帰国。2日後発病。8歳と11歳は、A型、姉妹です。

中野区

- ・1歳女児のインフルエンザはA型。連休初日に発熱、40℃まで上がったとのこと。発症後48時間近く経過していましたが、母親に話をしてタミフルを服用してもらったところ、翌朝には解熱しました。
- ・腹痛・発熱を伴い、やや重症感のある急性胃腸炎が年長児に増えています。

全数把握対象疾患 患者報告数 2005年 2週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		52週	53週	1週	2週	年累計	2週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							3
	細菌性赤痢	1		2	4	6	15	22
	ジフテリア							
	腸チフス						2	3
パラチフス								
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2					8	12
四類	E型肝炎							
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎							
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病				1	1	1	2
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病			2		2		9
	デング熱							1
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症								
発しんチフス								
ボツリヌス症								
マラリア	1							
野兔症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症				1	1	2	2	
レプトスピラ症								
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	2		1	1	8	14
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			2		2	2	5
	急性脳炎							
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1	3
	後天性免疫不全症候群	6	3	3	9	12	6	11
	ジアルジア症							1
	髄膜炎菌性髄膜炎							
	先天性風しん症候群							
	梅毒			1		1	3	6
	破傷風						1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2	2	

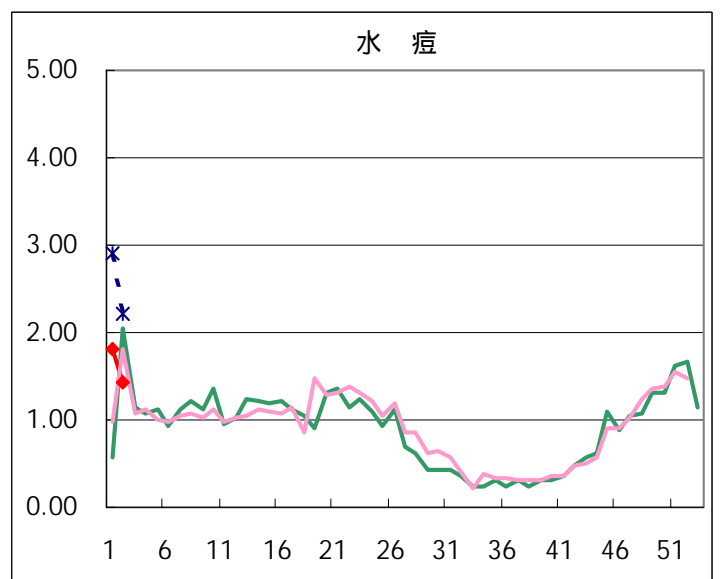
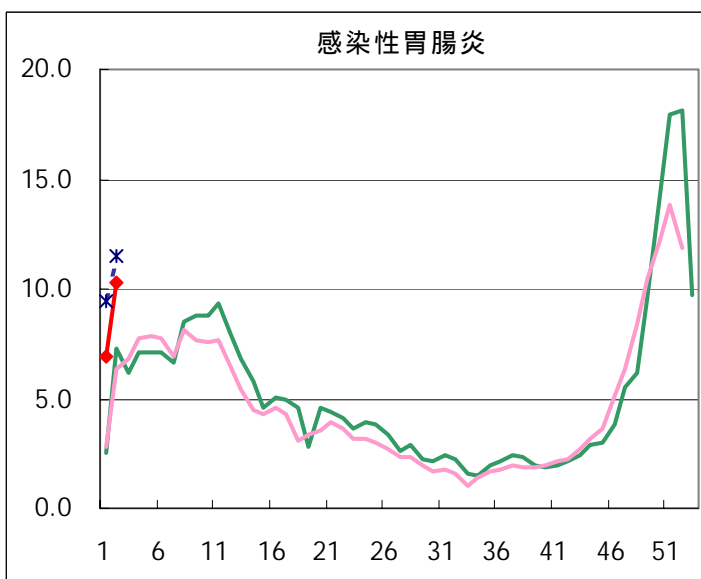
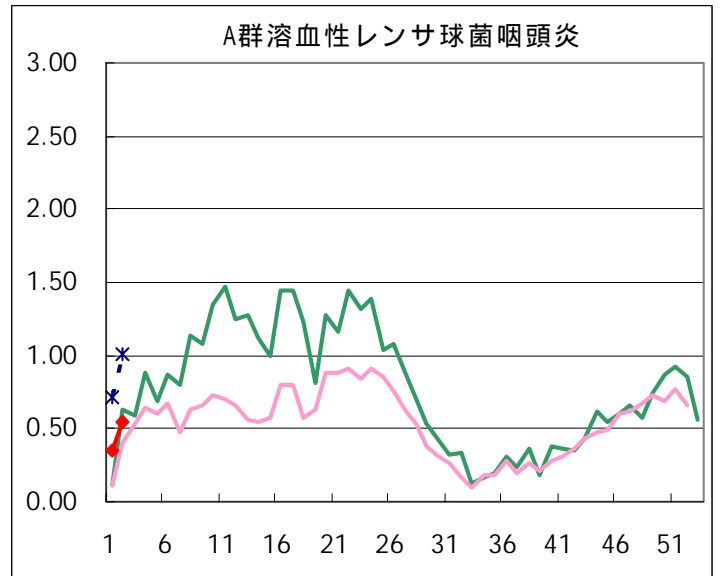
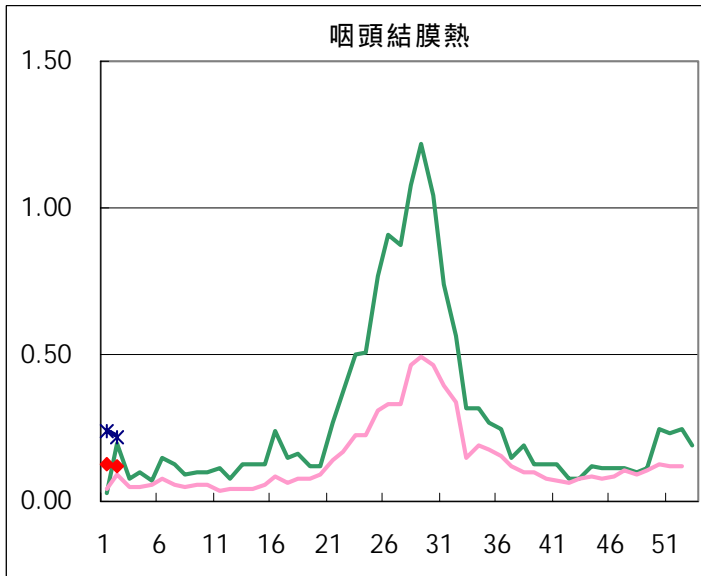
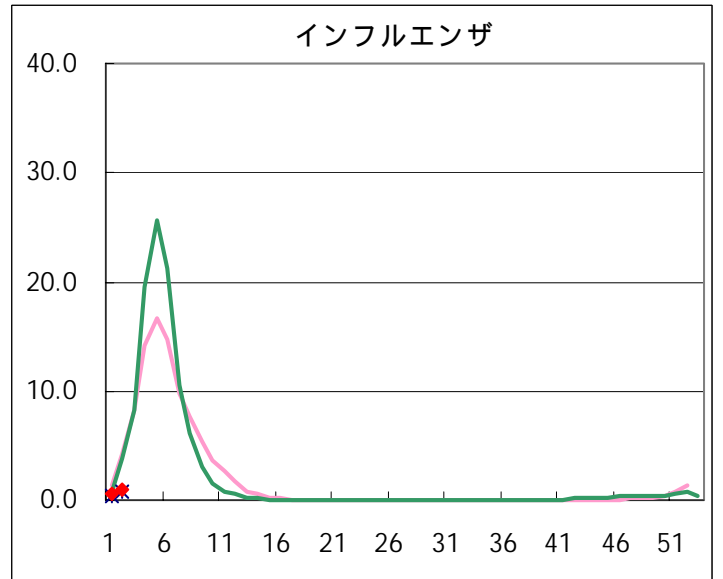
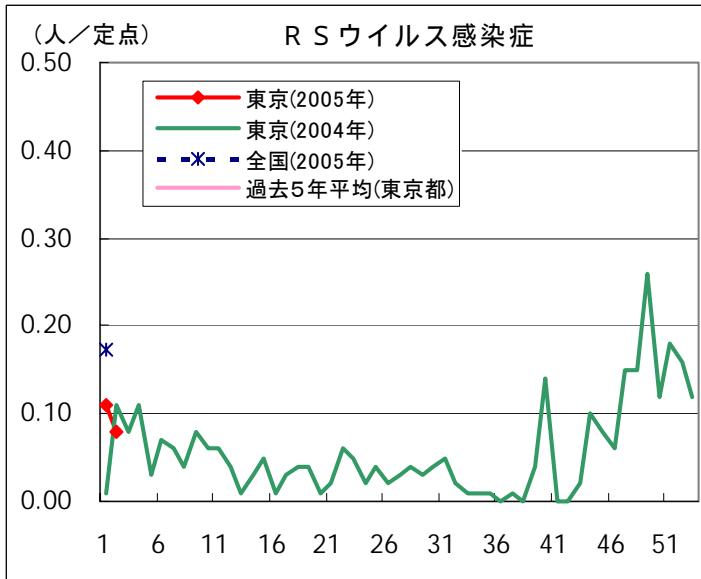
2005/01/24集計(カッコ内の数値は前週分である)。

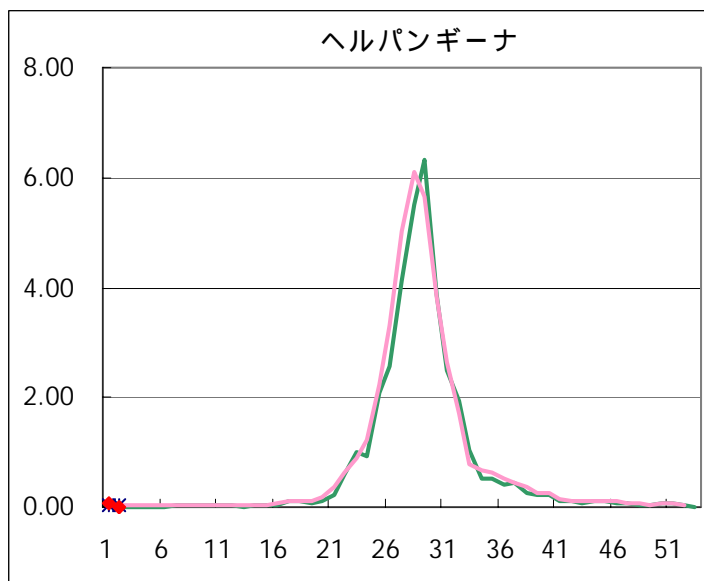
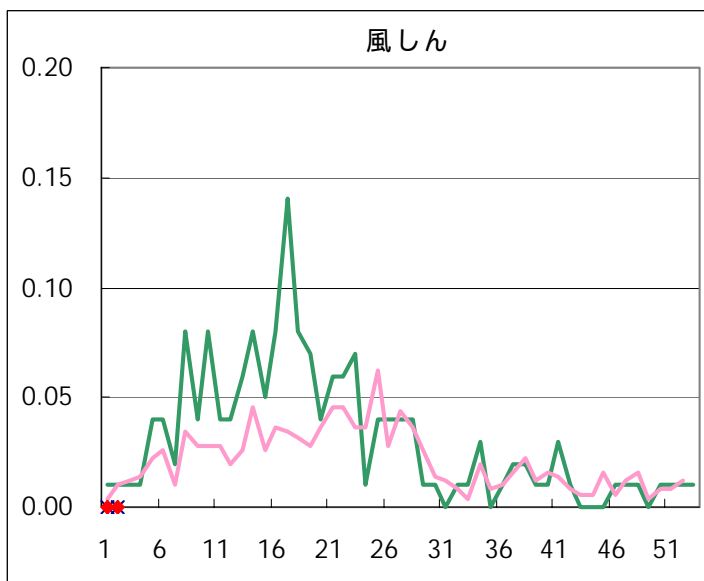
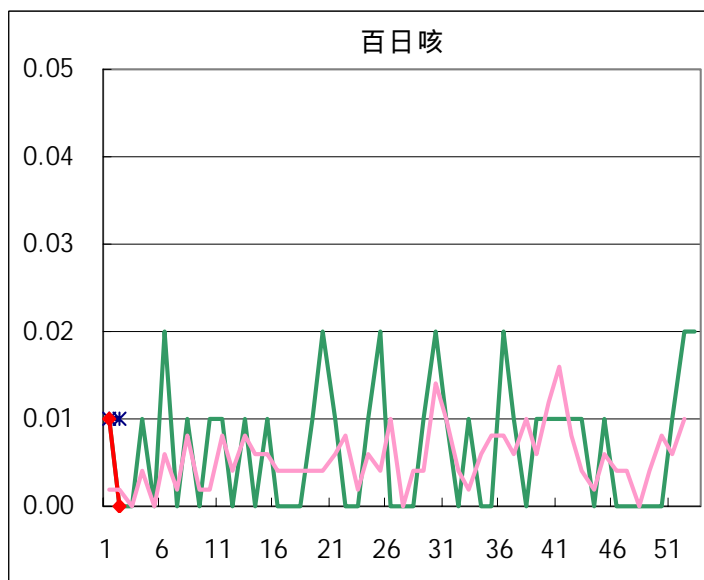
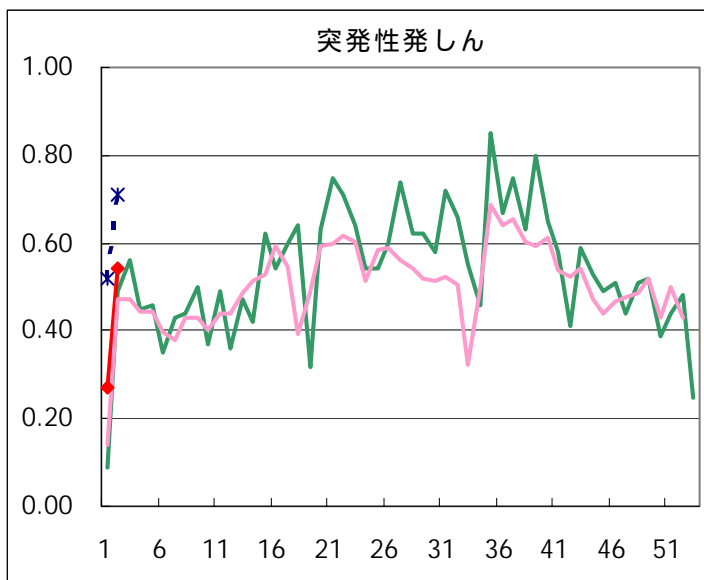
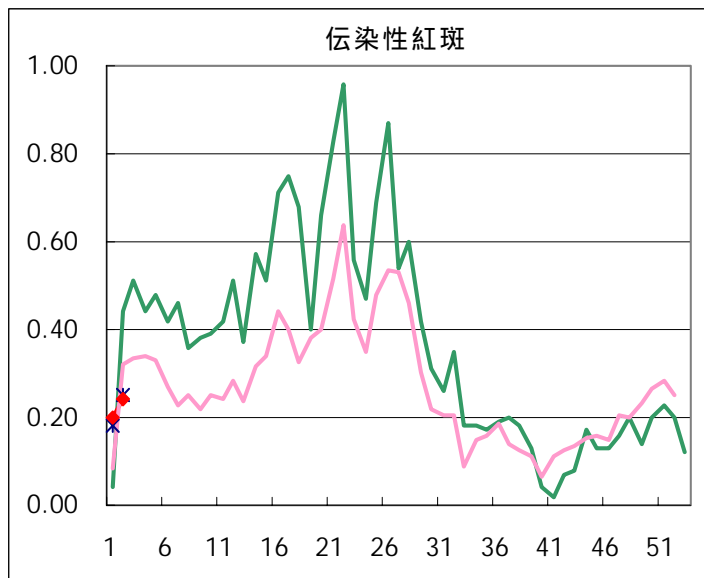
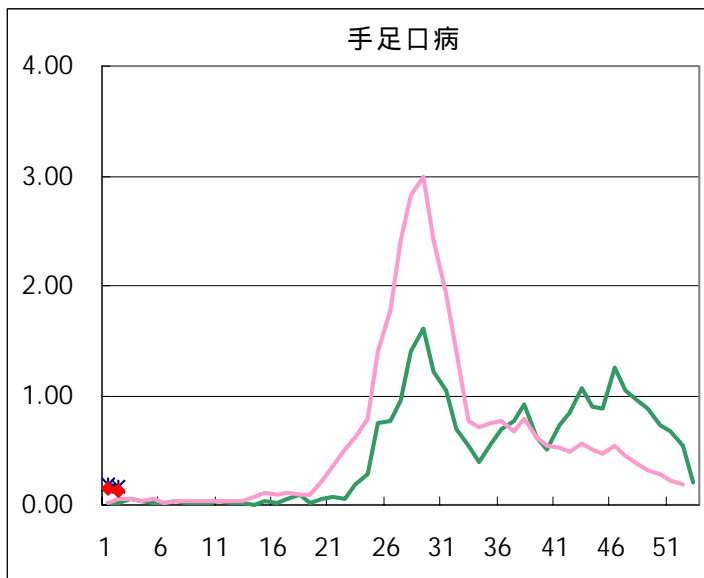
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年 2週

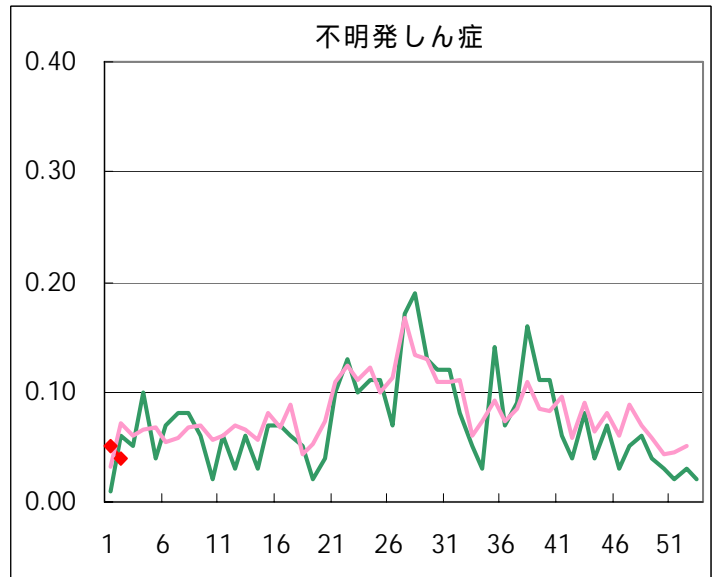
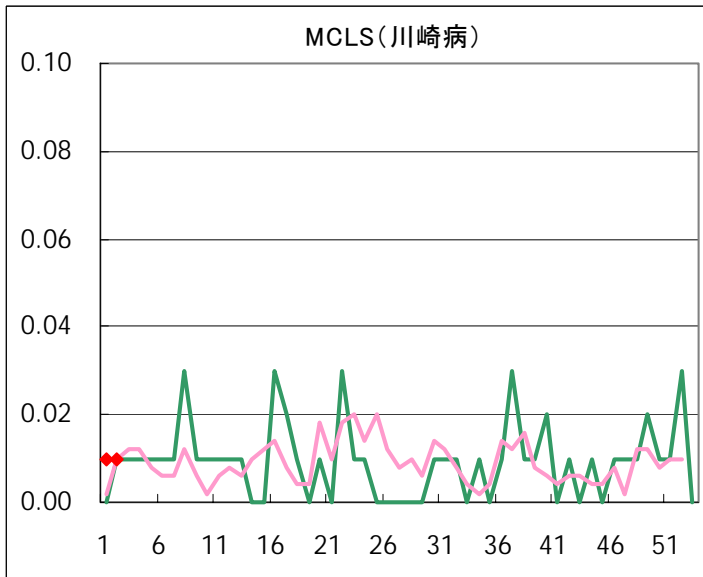
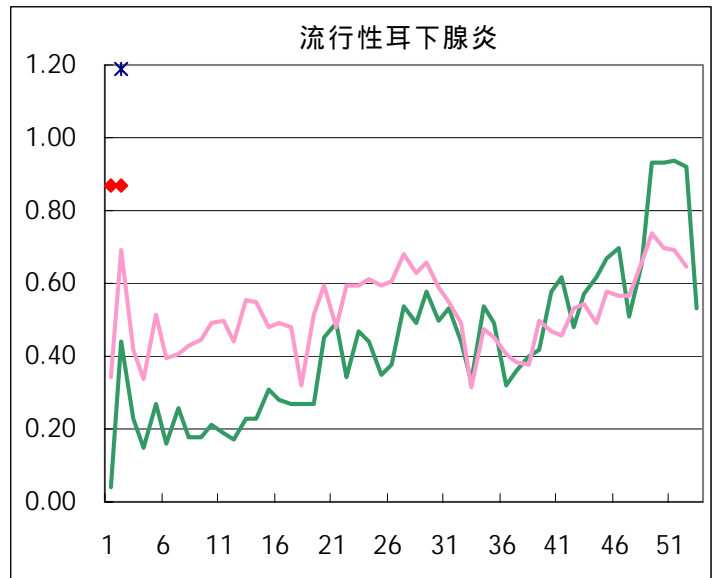
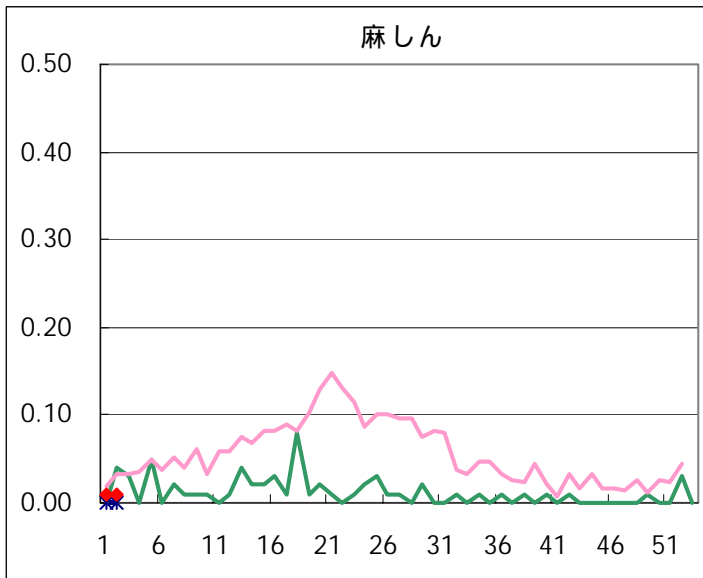
疾病名	性	2004年		2005年		4週合計	年累計
		52	53	1	2		
RSウイルス感染症	男	17	10	8	8	43	16
	女	6	7	7	3	23	10
インフルエンザ	男	62	38	53	88	241	141
	女	70	39	35	96	240	131
咽頭結膜熱	男	11	14	13	10	48	23
	女	24	13	5	7	49	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	70	40	26	40	176	66
	女	51	37	24	37	149	61
感染性胃腸炎	男	1,311	667	486	709	3,173	1,195
	女	1,267	679	501	746	3,193	1,247
水痘	男	127	87	140	105	459	245
	女	110	75	117	98	400	215
手足口病	男	45	17	13	11	86	24
	女	33	13	8	7	61	15
伝染性紅斑	男	15	5	9	18	47	27
	女	13	12	20	16	61	36
突発性発しん	男	31	19	18	46	114	64
	女	37	17	21	30	105	51
百日咳	男	2	1	1		4	1
	女	1	3			4	
風しん	男	1	1			2	
	女						
ヘルパンギーナ	男	6	2	4	2	14	6
	女	1		5		6	5
麻しん(成人麻しんを除く)	男	2			1	3	1
	女	2		1		3	1
流行性耳下腺炎	男	75	47	63	68	253	131
	女	56	28	60	55	199	115
不明発しん症	男	3	1	4	4	12	8
	女	1	1	3	2	7	5
MCLS	男	3			1	4	1
	女	1		1		2	1
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	8	3	2	5	18	7
	女	3	4	4	5	16	9
細菌性髄膜炎	男		1			1	
	女						
無菌性髄膜炎	男		1			1	
	女	1				1	
マイコプラズマ肺炎	男	2		1		3	1
	女	2	2	3	1	8	4
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年 2週現在

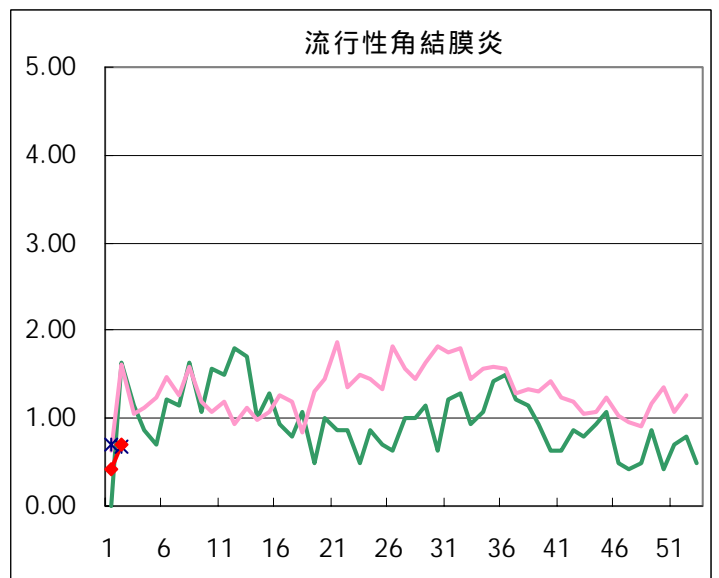
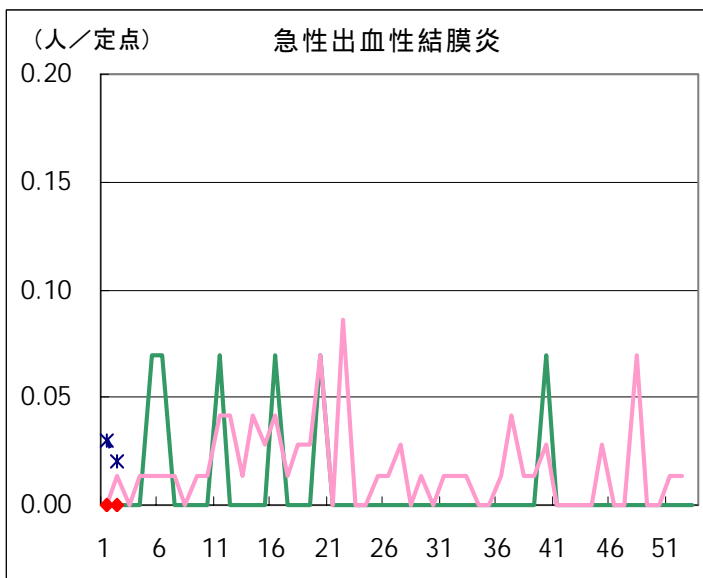
◆ 小児科・インフルエンザ定点



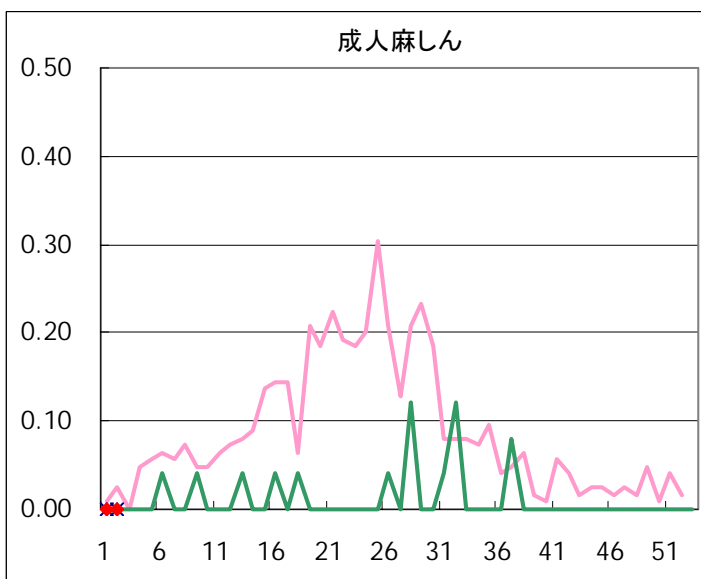
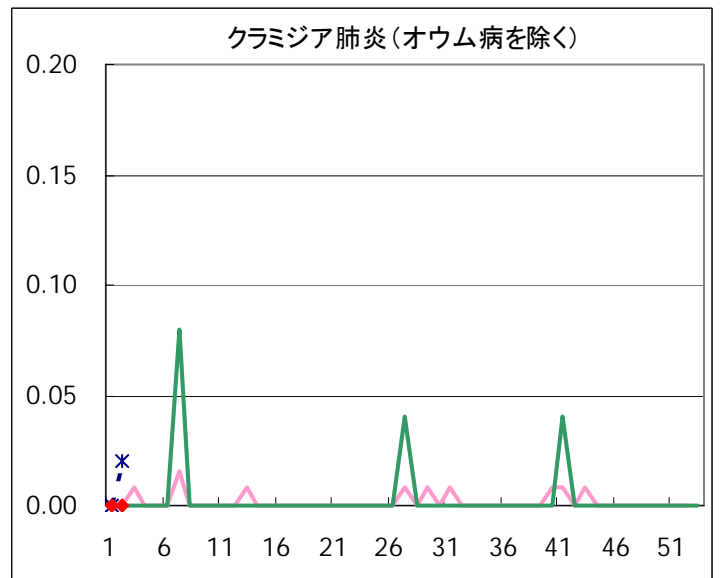
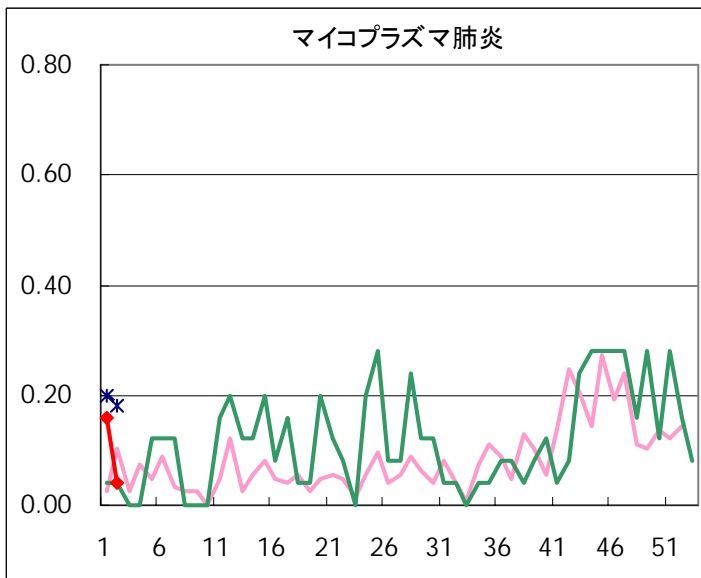
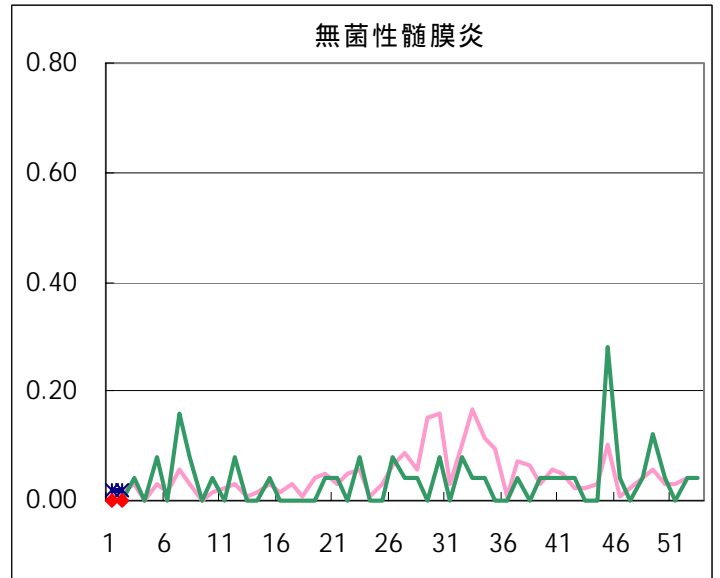
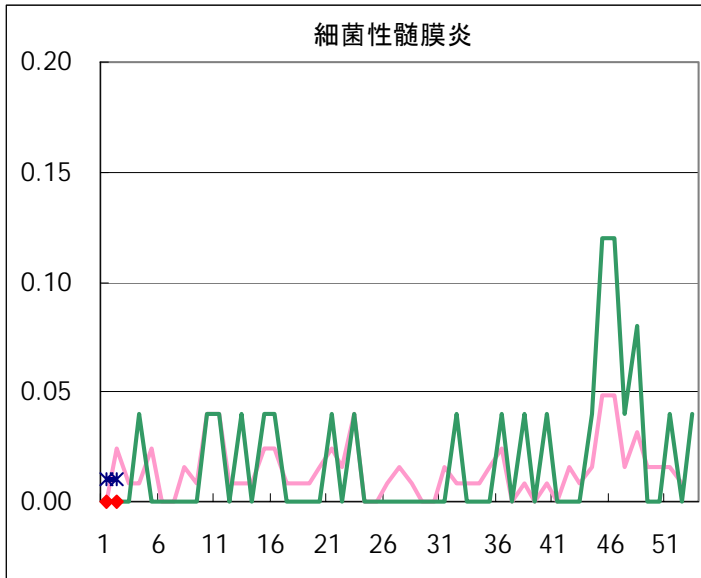




◆眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年 2週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月		1			12	7			3
～1歳	1	2		1	64	13			31
1歳		14	5	1	179	40	7	1	37
2歳		11	5	2	148	37	6	2	2
3歳	2	10	1	15	124	28	1	2	2
4歳		9	1	8	100	23	2	9	
5歳	1	11	2	17	105	23		2	
6歳		9		11	71	12	1	4	
7歳		9	2	6	68	4	1	6	
8歳		10		3	54	4		5	
9歳		2		3	53	2		1	1
10～14歳		15		3	115	6			
15～19歳		2	1	1	46				
20～29歳	7	25		6	316	4		2	
30～39歳		23							
40～49歳		17							
50～59歳		5							
60～69歳		4							
70～79歳		4							
80歳以上		1							
合計	11	184	17	77	1,455	203	18	34	76
先週比	-4	96	-1	27	468	-54	-3	5	37

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳					2			2	
1歳				1	9			1	
2歳					12				
3歳			1		21				1
4歳					11			1	
5歳					14			1	
6歳					14				
7歳					8				
8歳			1		11				
9歳					5				
10～14歳					10			1	
15～19歳							1		
20～29歳					6		4		
30～39歳							1		
40～49歳							2		
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	2	1	123	-	10	6	1
先週比	-1	0	-7	0	0	0	4	-1	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年 2週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		1			5					
中央区		3		1	15	5		1		
みなと	10	4	4	6	27	14	2		1	
新宿区		1			51	5	1	1		
文京					22	3	1		1	
台東		2	1	1	36	3	3	1	1	
墨田区		3		4	33	3		3	3	
江東区		9		4	50	8			5	
品川区		4		3	59	5	1		3	
目黒区				4	29	3		1	5	
大田区		10	2		139	14	5	3	8	
世田谷		6		1	62	12			4	
渋谷区		7	1	1	37	1			1	
中野区		4		3	77	8			1	
杉並		2		4	81	4			3	
池袋		4			18	6				
北区		5		1	45	13		5	10	
荒川区		5		1	35	3	2	1	1	
板橋区		6		1	33	3			1	
練馬区		18		7	43	8		1	1	
足立		3		1	32	13		2	2	
葛飾区		5		2	40	10		1	3	
江戸川	1	21	7	10	73	7		1	5	
西多摩		22			73	3		1	2	
八王子					13	4			1	
南多摩		8			37	10			9	
町田		3		6	69	11	1		1	
多摩立川		7		3	43	1		1		
多摩府中		12		4	72	8	1	3	1	
多摩小平		9	2	9	100	12	1	8	3	
島しょ					6	3				

東京都合計	11	184	17	77	1,455	203	18	34	76	-
定点当り報告数	0.08	1.03	0.12	0.54	10.25	1.43	0.13	0.24	0.54	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年 2週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田				1					7
中央区				3					28
みなと				1		1			70
新宿区				3		3			65
文京				1		4			32
台東				5					53
墨田区				2					51
江東区				2					78
品川区				1					76
目黒区				2					44
大田区		1		8					190
世田谷				2					87
渋谷区				1					49
中野区				3			1	1	98
杉並				4					98
池袋									28
北区				6					85
荒川区				2					50
板橋区				1					45
練馬区				1					79
足立				3					56
葛飾区				4			2		67
江戸川				6					131
西多摩				20					121
八王子				3		2			23
南多摩				5					69
町田		1		12			2		106
多摩立川				4					59
多摩府中			1	9					111
多摩小平				8			1		153
島しょ									9

東京都合計	-	2	1	123	-	10	6	1	2,218
定点当り報告数	-	0.01	0.01	0.87	-	0.71	0.04	0.01	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年 2週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		0.20			1.25					
中央区		0.75		0.33	5.00	1.67		0.33		
みなと	1.67	0.57	0.67	1.00	4.50	2.33	0.33		0.17	
新宿区		0.14			8.50	0.83	0.17	0.17		
文京					7.33	1.00	0.33		0.33	
台東		0.50	0.33	0.33	12.00	1.00	1.00	0.33	0.33	
墨田区		0.75		1.33	11.00	1.00		1.00	1.00	
江東区		2.25		1.33	16.67	2.67			1.67	
品川区		0.57		0.50	9.83	0.83	0.17		0.50	
目黒区				1.33	9.67	1.00		0.33	1.67	
大田区		1.00	0.22		15.44	1.56	0.56	0.33	0.89	
世田谷		0.67		0.13	7.75	1.50			0.50	
渋谷区		1.40	0.25	0.25	9.25	0.25			0.25	
中野区		0.57		0.50	12.83	1.33			0.17	
杉並		0.29		0.67	13.50	0.67			0.50	
池袋		0.67			3.60	1.20				
北区		1.00		0.25	11.25	3.25		1.25	2.50	
荒川区		1.67		0.50	17.50	1.50	1.00	0.50	0.50	
板橋区		0.86		0.17	5.50	0.50			0.17	
練馬区		3.00		1.40	8.60	1.60		0.20	0.20	
足立		0.60		0.25	8.00	3.25		0.50	0.50	
葛飾区		1.00		0.50	10.00	2.50		0.25	0.75	
江戸川	0.25	4.20	1.75	2.50	18.25	1.75		0.25	1.25	
西多摩		3.14			14.60	0.60		0.20	0.40	
八王子					6.50	2.00			0.50	
南多摩		2.00			12.33	3.33			3.00	
町田		1.00		3.00	34.50	5.50	0.50		0.50	
多摩立川		0.88		0.50	7.17	0.17		0.17		
多摩府中		0.92		0.40	7.20	0.80	0.10	0.30	0.10	
多摩小平		1.13	0.33	1.50	16.67	2.00	0.17	1.33	0.50	
島しょ					6.00	3.00				

東京都合計	11	184	17	77	1,455	203	18	34	76	-
定点当り報告数	0.08	1.03	0.12	0.54	10.25	1.43	0.13	0.24	0.54	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年 2週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田				0.25				
中央区				1.00				
みなと				0.17		1.00		
新宿区				0.50		1.50		
文京				0.33		4.00		
台東				1.67				
墨田区				0.67				
江東区				0.67				
品川区				0.17				
目黒区				0.67				
大田区		0.11		0.89				
世田谷				0.25				
渋谷区				0.25				
中野区				0.50			0.17	0.17
杉並				0.67				
池袋								
北区				1.50				
荒川区				1.00				
板橋区				0.17				
練馬区				0.20				
足立				0.75				
葛飾区				1.00			0.50	
江戸川				1.50				
西多摩				4.00				
八王子				1.50		2.00		
南多摩				1.67				
町田		0.50		6.00			1.00	
多摩立川				0.67				
多摩府中			0.10	0.90				
多摩小平				1.33			0.17	
島しょ								

東京都合計	-	2	1	123	-	10	6	1
定点当り報告数	-	0.01	0.01	0.87	-	0.71	0.04	0.01

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2004年48週～2005年2週

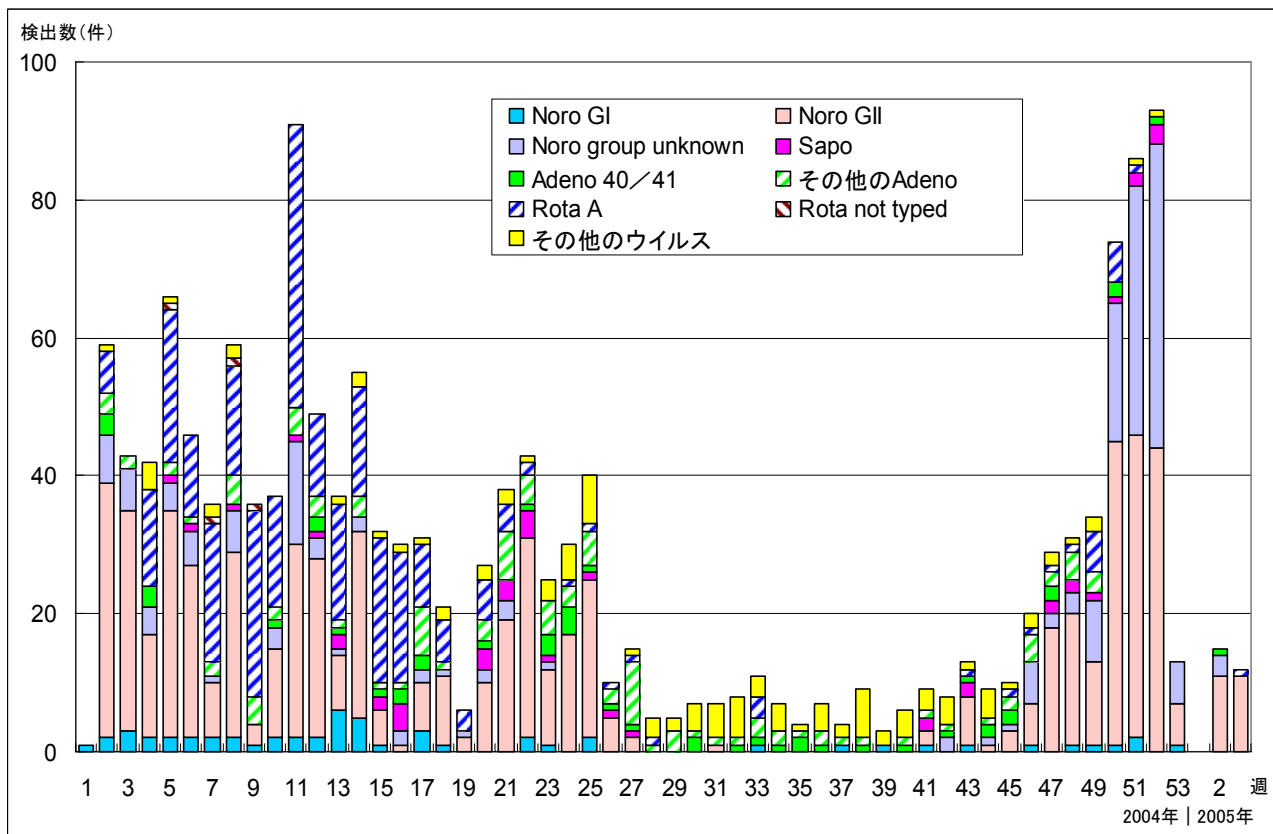
検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2004年						2005年		
		48	49	50	51	52	53	1	2	
ウイルス	アデノ	4	6	3	1	5	2	1	1	23
	ライノ									
	ポリオ							1		1
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群			1						1
	エコー									
	エンテロ71			1						1
	その他のエンテロ				3	2	1	2		8
	単純ヘルペス				1					1
	水痘・帯状疱疹								1	1
	ヘルペス6/7	1	2		4		1		1	9
	EB	1								1
	サイトメガロ					1				1
	ムンプス			1	1		1	4		7
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19									
	RS						1			1
	ノロ	18	29	51	75	141	3	75	224	616
	ロタ					2			2	4
インフルエンザAソ連型								1	1	
インフルエンザA香港型		7	7	5			17		36	
インフルエンザB型			2				8	1	11	
デング										
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター			1			1			2
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	MRSA				1				7	8
	MSSA			2					2	4
	溶血性レンサ球菌								7	7
	その他の細菌									

臨床診断名別検出結果 2004年48週～2005年2週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	82	10	33	1283	32				2	3	1	18	5	1	2		113	
アデノ		4	7	1								7					4	23
ライノ																		
ポリオ				1														1
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群					1													1
エコー																		
エンテロ71					1													1
その他のエンテロ		2		2					1	1		2						8
単純ヘルペス									1									1
水痘・帯状疱疹													1					1
ヘルペス6/7		1							1	1		3					3	9
EB																	1	1
サイトメガロ												1						1
ムンプス					3								3				1	7
麻しん																		
風しん																		
パルボB19																		
RS		1																1
ノロ				616														616
ロタ				4														4
インフルエンザAソ連型	1																	1
インフルエンザA香港型	36																	36
インフルエンザB型	11																	11
カンピロバクター				2														2
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																	7	7
その他の病原体																	9	9
備考																		

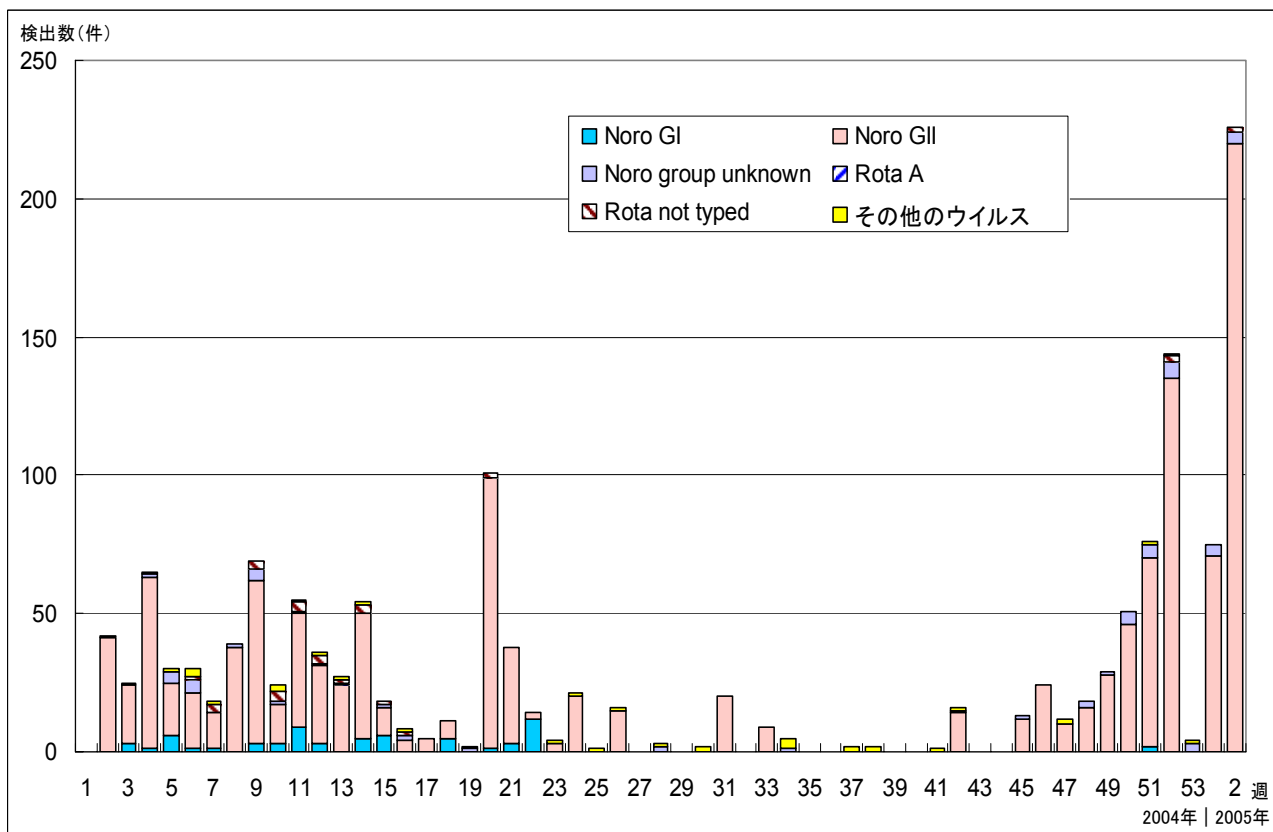
クローズアップ(感染性胃腸炎)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（全国）



IASR 病原微生物検出情報(2005年1月24日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科/多摩支所微生物研究科(集団発生を含む)
(注) Noro group unknown: SRSVで報告されたものを含む

< 感染症豆知識 >

伝染性紅斑

伝染性紅斑は B19 ウイルス（以前はヒトパルボウイルス B19 と呼ばれていた）による発しん症で、感染症発生動向調査では小児科定点報告(全国約 3000)の 5 類感染症である。5 ～ 9 歳の小児を中心に流行がみられ、1987 年、92 年、97 年、2001 年と、ほぼ 4 ～ 5 年間隔で流行している。東京都における 2004 年の報告数は例年より高いレベルで推移している。風しんの流行時期には風しんとの鑑別に留意する必要がある。

臨床症状は左右の頬部の紅斑、四肢の網目状の紅斑が特徴であるが、発しんが出現する 7 ～ 10 日前に発熱・風邪様の前駆症状があり、この時期に排泄されるウイルスが飛沫感染を起こす。発しん出現時にはウイルス排泄はほぼ消失しているため、集団内で患者が発生した時には既に周囲に感染が拡大している場合が多い。発しん出現前のウイルス血症期に採取された血液やそれを原材料とする各種血漿分画製剤を介する感染もある。

B 19 感染は伝染性紅斑だけでなく溶血性貧血患者に重症の貧血発作を起こす。その他にも急性関節炎、血小板減少症、顆粒球減少症、血球貪食症候群などがみられる。また、妊婦が感染すると、胎児水腫などの胎児異常がみられる場合がある。英国の報告では妊婦感染の約 9 % に胎児死亡が生じている。生存児の先天異常は報告されていない。

B19 の病原診断は遺伝子組換えで発現させた B 19 抗原を用いた抗体測定や PCR でのウイルス DNA の検出が行われる。B 19 は有機溶媒や界面活性剤などでの不活化が困難で、耐熱性も強い。

(文責 山下和予)